

高山のゴヨウツツジ(シロヤシオ)

目通り：1.27m 根元周り：1.37m 樹高：6m 樹齢：300年以上



★高山のゴヨウツツジとは…？

毎年5月下旬に見頃を迎えるゴヨウツツジは、小野子山の山頂付近、標高1100mにあります。枝の先に葉が5弁輪生状につくため「五葉ツツジ」と呼ばれるようです。

昭和30年に群馬県の天然記念物に指定され、当時は「高山の姉妹ツツジ」として2本のツツジが登録されていましたが、妹ツツジが枯れてしまい、平成7年指定物件名変更が行われ、現在の名称になりました。

和名は「シロヤシオ」といい、「ヤシオツツジ」の種だと、高山村教育委員会発行の『たかやまの文化財』や『高山の地名』には記されています。

★「ヤシオツツジ」って何？

「ヤシオツツジ」と呼ばれる「シロヤシオ」「アカヤシオ」「ムラサキヤシオ」、実は生物分類学ではそれぞれ別亜属や別節の分類です。

そこで「ヤシオツツジ」とは何かを調べるために、まず「ヤシオ」の語源をみてみますと、「八潮」や「八

入」の漢字表記が確認できました。これらは「幾重にも染液に浸して濃く染める様子」の意味であり、「ヤシオツツジ」の花弁の色鮮やかさを表すためとの記載が植物図鑑や国語辞典(※)では多くみられます。

★日本におけるツツジの分類

古くから日本では野生種や園芸種など、様々な種類のツツジが親しまれてきました。確認できる古書では、『出雲国風土記』(732)や日本最古の漢和辞典『新撰字鏡』(898～901)、『倭名類聚抄』(934)などにも記載があります。あまりにも古くから親しまれているため、似たような名称の重複利用や、自生地や植物の性質、色の総称として認識されており、現代における分類上は紛らわしい状態になっているのです。

「ヤシオツツジ」も、鮮やかな色合いのツツジの総称であったのかもかもしれませんね。

しかし「シロヤシオ」に関しては少し疑問が残ります。

「幾重にも染液に浸して濃く染める様子」を、赤色や紫色として表現

するのはわかりますが、白色に用いるものでしょうか……「鮮やかな白」というほど、他の「シロツツジ」に比べて白色が鮮やかかどうか、意識をしてよくよく観察する必要があります。

※参考文献

- 『たかやまの文化財』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行、2018.3.30改訂版
- 『高山の地名』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行、1998.3.30
- 大出英子「日本の伝統的園芸植物としてのツツジ類の歴史について」目白大学短期大学部研究紀要(44)、2008.1
- 太田洋愛/絵、富樫誠/文『原色日本産ツツジ・シャクナゲ大図譜 増補』誠文堂新光社、2005
- 牧野富太郎/著、大橋広好/編『新牧野日本植物図鑑』北隆館、2008.11.1
- 『日本国語大辞典第13巻』日本国語大辞典第二版編集委員会/編、小学館国語辞典編集部/編、小学館、2002
- レファレンス共同データベース「ヤシオツツジやヤシオマスに使われている「ヤシオ」の語源を知りたい」https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000213601(参照2020.5.10)

6月の星空

○星図の説明

15日午後9時の星空です。

月初めの午後10時頃、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。

※25日が満月です。



リトルミュージアム

『おいしかしわ餅をつくりました!』



まちだ ひろゆき くん
「大きくなったら、「パトカーの運転手」になりたいです!」



やまぐち あると くん
「大きくなったら、『鬼滅の刃』の我妻善逸 になりたいです!」



いづか まな さん
「大きくなったら、「消防士さん」になりたいです!」



※わが家のアイドル(6カ月~4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※^_^) ☎26-7944(直通)



新田 中野 愛斗さん(2歳)

ぼくの名前は「まなと」です。
「愛」という字にこだわり、人に愛され、人を愛することができる人間になってほしいと願いをこめてつけられました。

好きな遊びは、車やバイクをいじったりすること!

好きな食べ物はからあげやウインナー! お茶も好きです。

★少し落ち着きがないですが、これから色々なことを経験して、生まれて良かったと思えるように家族で頑張っていこうね!!

こちら「地域おこし支援隊 大沢雅美」

はじめまして。4月1日から

地域おこし支援隊として活動しています。大沢雅美と申します。

以前、高山村に住みながら前橋の勤め先に通っていたことがあり、その頃から高山村の風景や住んでいる人たちの温かさに癒やされており、改めて高山村の支援隊としてご縁ができたことがとても嬉しいです。

住んでいた時は朝、日が昇るころに高山村を出て、沈んでから帰っていたので、住んでいたとはいえ知らないことばかりです。支援隊になってから、農家さんのところで農業体験をさせてもらえたり、山へ行き山菜の取り方を教えてもらえたり、これまで知らなかった経験ばかりで楽しい日々を過ごさせていただいています。

実家は、にしやん(西山君の隣の大阪府茨木市というところで、太陽の塔(万博記念公園)

が近くにありますが。

今年は、関西繋がりの方に高山村のことを教えてもらいながら、ものづくりが好きなので、木を使った小ものづくりをしていきたいのと、高山村の食べ物は何を食べても美味しいので、お米や野菜を自分でつくりながら楽しんでいきたいと思っています。

今年は、はじめて綿の栽培に挑戦しています。綿は日当たりと風通しがよいところを好むそうなのですが、湿気をあまり好まないそうです。今植えている土地は水捌けがあまりよくないところなので、高山村の土地に合うか分らないですが、最近畑に行ってみたら、芽が出ていたのでこれからは楽しみです。分らないことばかりで、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。



note



instagram

日々の活動内容を投稿しています。